取 扱 説 明 書 保証書付き

その他の体温及び関連機器（皮膚赤外線体温計）

サーモフォーカス® プロ 額

医療機器承認番号：22100BZX00092000

このたびは、サーモフォーカス®プロをお買い上げいただきありがとうございました。

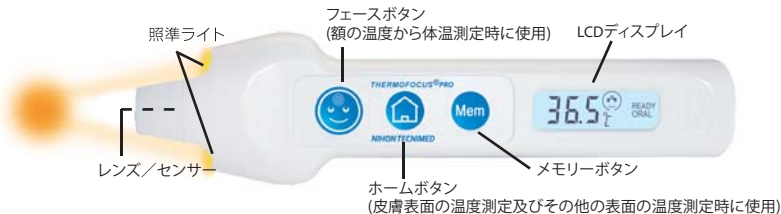
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にはこの取扱説明書を必ずお読みください。

■本書は、いつもお手元においてご使用ください。
■本書は保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

体温計のご確認

ご使用になる前に、下記のものが揃っているか確認してください。

■ サーモフォーカス®プロ本体 ■単４アルカリ乾電池４本 ■取扱説明書（保証書） ■添付文書

照準ライト
フェースボタン（額の温度から体温測定時に使用）
LCDディスプレイ
レンズ／センサー
ホームボタン（皮膚表面の温度測定及びその他の表面の温度測定時に使用）
メモリーボタン

使い方

本機器には三つのボタンがあります。フェースボタン は、額の温度から舌下温（又は直腸温又は腋窩温[わきの下の温度]）を予測する時に使用します。ホームボタン は、体の皮膚表面の温度を測定する時に使用します。メモリーボタン は、自動的に保存された測定値を表示します。いずれかのボタンを押すと電源が入ります。

迅速校正機能（MQCS）

本機器には迅速校正機能（MQCS）が導入されています。この機能は、本機器を周辺温度の異なる場所に移動した時（例：屋外から屋内へ、部屋から部屋へ移動した時）、直ぐに使用できるように機器を校正する機能です。操作方法は次の通りです。（フェースボタンにのみ適用）

使い方

１）電源を入れ、フェースボタン とホームボタン を同時に押す。CALの文字が表示される。

２）保護キャップを開ける。

３）10秒以内に体温計を室内の壁又室内の物体に向け、ホームボタン を押しながら焦点を合わせ手を離す。＊

４）液晶ディスプレイに下図のように現在の室温が表示され、体温計は直ぐ使用できる状態となる。体温測定をするにはフェースボタン使い方（３）から初めて下さい。

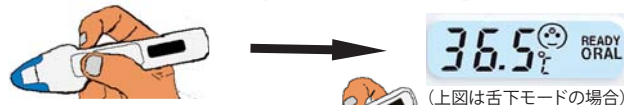
＊：室内の壁や物体は、室温と同じ温度であることを前提にしています。従って、外気と接触している壁・窓・物体は使用しないで下さい。

注意：連続使用中や移動した時に、液晶に「分・秒」の表示でカウントダウンが始まることがあります。これは、本体を安定化するまでの時間を自動的に表示しています（AQCS）。この場合は、上記のMQCS操作方法で校正すれば直ぐに使用できます。また、続けて30分以上使用するときは30分毎にMQCSで校正して使用してください。

(3110)

フェースボタンの使い方

(1) キャップを閉じたままフェースボタンを１回短く押します。ディスプレイには、数字の右横に「ＲＥＡＤＹ」と表示されます。

（上図は舌下モードの場合）

(2) 次にキャップを開けます。

(3) 再度フェースボタンを押すと照準ライトが点灯するので、ボタンを押したまま額の中央で赤い光線が１点になるように距離を調整し、ボタンから指を離します。

(4) すると、照準ライトが点滅し、ディスプレイに体温が表示されます。

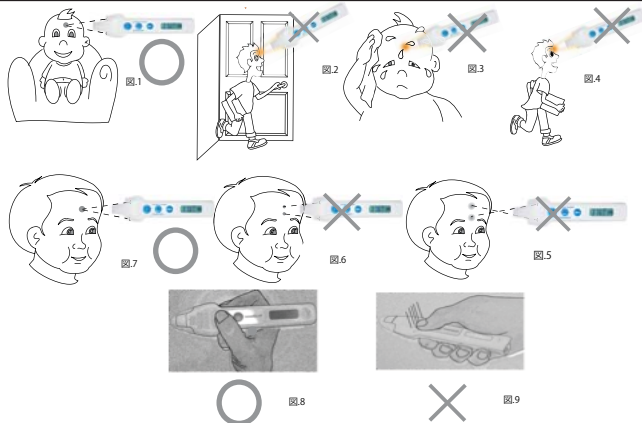
(5) 続けて測定する時は、キャップを開けたままフェースボタンを押し距離を調節し測定してください。
もし室温表示に戻っている場合には、キャップを閉じ、（１）から操作をやり直して下さい。
もし高めの表示が出たら、[表示モードの変更]を参照して下さい。

(6) 測定終了後は必ずキャップを閉めてください。

額から測定した正常体温は、35℃から37.5℃です。
成人の場合は35℃以下のこともあります。

額で測定できないとき

何らかの理由で額で測定できない場合(汗をかいている時、化粧をしている時など)、近似値を首の部分で測定する方法があります。この方法では近似値しか得られませんので注意してください。

耳下約2.5cmの首の表面で測定

ホームボタンの使い方

(1) キャップを閉じたままホームボタンを１回短く押します。ディスプレイには、数字の右横に「ＲＥＡＤＹ」と表示されます。

(2) 次にキャップを開けます。

(3) 再度ホームボタンを押すと照準ライトが点灯するので、ボタンを押したまま皮膚などの測定対象物の表面で赤い光線が１点になるように距離を調整し、ボタンから指を離します。

(4)すると、照準ライトが点滅し、ディスプレイに対象物の表面温度が表示されます。

(5) 続けて測定する時は、キャップを開けたままホームボタンを押し距離を調節し測定して下さい。

もし室温表示に戻っている場合には、キャップを閉じ、（１）から操作をやり直して下さい。

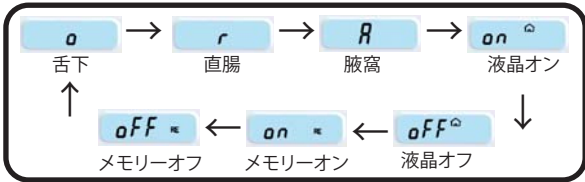
(6). 測定終了後は必ずキャップを閉めてください。

正しく測定するための留意点

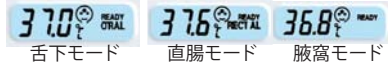
正しく測定するために、次の留意点にしたがってご使用ください。
測定を開始する前に、迅速校正機能（MQCS）で校正してから使用してください（操作は「使い方」の迅速校正機能参照）。また、ディスプレイ表示が周辺温度（室温）と家のマークが点滅している状態（スタンバイ状態）であることを確認してください。本品は正しく使用すれば５万回の測定に耐えられます。

１. 本品は他の体温計と同じ使用環境でお使いください（図１）。
２. 本品は通気がなく、室温の一定な16～40℃の部屋でお使いください。
３. 患者さんが直前まで風の当たるところや、検温の場所と著しく温度の異なる場所にいた場合には、患者さんを検温の場所に 20分～30分間 慣らしてから検温してください（図２）。
４. 本品が検温の場所と温度の異なる環境に保管されていたり、使用されていた場合は、検温前にMQCSで校 正してから使用してください（操作は「使い方」参照）。
５. 額に汗をかいている場合は使用しないでください（図３）。
６. 以下のような場合は、額の温度が安定するまで数分待ってから測定してください。
・直前まで運動していた場合（図４）
・換気のよい部屋、又は測定場所と著しく気温の異なる場所にいた場合
・直前まで保冷スポンジ、または冷湿布を額に当てていた場合
・直前まで帽子やスカーフを着用していた場合
・入浴やシャワー、シャンプー、ヘア・ドライヤーの使用など額の温度に影響するような行為をしていた場合
７. ２個の照準ライトが焦点を結ばないときには正しく測定できません（図５，６）。照準ライトが1点になるところが正確な測定に適した距離となります（図７）。
８. 本品は温度変化に敏感なので、体温計の頭部を長時間手で握ったり、白衣や胸のポケットに入れたりしないでください。また、30分以上継続して使用する際は、30分毎にMQCSで校正して使用してください。
９. 本品を落としたり、たたいたりして衝撃やショックを与えないでださい。
10. 強電磁場の周辺（携帯電話などの近く）で使用しないこと。
11.測定するときは、本体をペンや鉛筆を持つような指使いで持つようにしてください。また、ボタンは親指で軽く押して下さい。爪は使わないでください（図８，９）。
12. LED照準ライトは目に安全で害を与えません。

モード変更のしかた

モードを変更するときは、変更毎に体温計を静置し１分間待ってから設定して下さい。

１）舌下温、直腸温、腋窩温の設定
フェースボタンを10秒以上間長押しすると、液晶の表示が上の枠内の順番で変わります。
舌下温、直腸温、腋窩温のうち設定したい表示が現れた時に、ボタンから指を離します。READYが表示されたら測定を開始できます。

測定後の各モードの表示は次の通りです。

37.0 READY ORAL 舌下モード　37.6 READY RECTAL 直腸モード　36.8 READY 腋窩モード

２）液晶ON、OFFの設定
フェースボタンを10秒間長押しすると、液晶の表示が上の枠内の順番で変わります。
液晶ON、OFFのうち設定したい表示が現れた時に、ボタンから指を離します。READYが表示されたら測定を開始することができます。

液晶ONに設定した場合：使用後約４時間でディスプレーの電源が切れます。
液晶OFFに設定した場合：使用後約30秒でディスプレーの電源が切れます。

３）メモリーON/OFFの設定
フェースボタンを約10秒間長押しすると、液晶の表示が上の枠内の順番で変わります。
メモリーON、OFFのうち設定したい表示が現れた時に、ボタンから指を離します。READYが表示されたら測定を開始できます。

メモリー機能について

メモリーONの設定で、測定直後にメモリーボタンを押すと測定値を保存します。9回の測定値を保存できます。保存した値は、メモリーボタンを押すと見ることができます。メモリーボタンを押すと最初に再現される値（測定値１）は、最後に測定した値です。ボタンを押すごとにその前の測定値が遡って現れます。

9回記録した場合は、最後に再現される測定値（測定値９）が一番最初に測定した値です。順序を間違わぬよう注意してください。

メモリーの消去法：メモリーボタンを一回押して, もう一回5秒以上押し続けるとすべてのメモリーを消去することが出来ます。

清掃

プローブの清掃
プローブ部分は非常に精巧なので、爪や他の物でプローブを触らないようにしてください。使用していない時にはいつも保護キャップを閉めて、体温計を保護することをお勧めします。清掃には、アルコールで綿を少し湿らせ、プローブに軽く当て押さないようにして清掃して下さい。プローブの奥のセンサー付近の清掃は避けてください。清掃中に液体がプローブの内壁からセンサーへとしみ込まないよう注意してください。また、プローブ内壁に損傷を与える恐れがあるので、これ以外の物や液体を用いて清掃しないで下さい。

体温計本体の清掃
石鹸水で少し湿らせた柔らかい布を使って下さい。シンナー、ベンジン、クレゾール、研磨剤等は使用しないで下さい。又体温計を絶対に液体につけないでください。

清掃後最低 30分は本品を使用しないでください。

電池の交換のしかた

１.図のように本体の裏側の電池カバーを上に向け、本体を机の上に置き、手で押さえます。
２.もう一方の手で、図のように「一円硬貨」をストラップ（紐）用の穴に斜め（２０度位の角度）に入れ、電池カバー端の下側の溝に引っ掛けます（図参照）。
３.一円硬貨の反対側を軽く押すとカバーが簡単に開きます。この際強く押さないよう注意して下さい。また、本体の後ろ側の小さなボタンを指で中に押しても開けることができます。
４.電池の交換は内部の図に合わせて正しく入れてください。
５.長時間使用しない場合は、電池を取り出しておいてください。
６.使用済の電池は、市区町村の方法に従って破棄してください。

電池の寿命は、使い方やモードの設定により異なります。

仕様

表示温度範囲	額測定ボタン（フェースボタン:34.0～42.5℃） 表面温度測定ボタン（ホームボタン：1.0～55℃）
表示方式	LCDディスプレイ表示素子による3桁デジタル方式
最小表示単位	0.1℃
使用条件	16℃～40℃、30～85%RH（ただし結露なきこと）
保存条件	-10℃～60℃、30～85%RH（ただし結露なきこと）
保証測定精度	額測定ボタン（フェースボタン）
	±0.2℃（36.0～39.0℃） ±0.3℃（34.0～35.9℃、39.1～42.5℃）
	表面温度測定ボタン（ホームボタン）
	±1.0℃（1.0～19.9℃、42.3～55℃） ±0.3℃（20.0～35.9℃、39.1～42.2℃） ±0.2℃（36～39℃）
測定時間	約３秒
測定方式	実測補正式（フェースボタン）/実測式（ホームボタン）
測定部位	額（フェースボタン）/皮膚表面（ホームボタン）
付加機能	1.舌下温、直腸温、腋窩温補正機能 2.周辺温度表示
警報機能	電池切れマーク、使用温度範囲外表示、 電磁場影響の表示、自動的安定化時間表示(AQCS)
電池交換	電池交換可能
質量	90ｇ（電池含む）
電源	DC6V、単４アルカリ形乾電池、４本
電撃保護	内部電源機器、B 形機器
外形寸法	長さ 156mm× 幅 40mm× 厚さ 22mm
付属品	乾電池４本（単四アルカリ）、取扱説明書（保証書付き）、添付文書

EMC適合：本製品はIEC　60601-1-2：2001に適合しています。

測定値以外の表示

コード表示	意味
36.5 READY ORAL	乾電池の絵が表示された場合は、電圧が低いことを示しています。早めに電池を交換してください。
E.1 READY ORAL	電池が消耗したことを示しています。電池を交換してください。
40.1 READY ORAL Hi.2 READY ORAL	測定値と「Hi.2」の文字が交互に点灯した場合は、測定対象者が高熱であることを示しています（40℃以上の高熱）。医師にご相談下さい。
Hi.2 READY ORAL	フェースボタンで額温を測定したときに、額温を高く測定したことを示しています。
Hi.2 READY	ホームボタンで測定したときに、対象物の表面温度が、測定限界を超えていることを示しています。この場合は、温度測定は出来ません。
Lo.3 READY ORAL	フェースボタンで額温を測定したときに、額温を低く測定したことを示しています。プローブ内レンズの汚れや損傷がないか、或いは測定対象者が温度の低い場所から移動してきていないかなどチェックしてください。
Lo.3 READY	ホームボタンで測定したときに、対象物の表面温度が、測定限界以下であることを示しています。この場合は、温度測定は出来ません。
Hi.4 READY	使用環境の周辺温度が高過ぎることを示しています。(室温40.0°C以上)温度の低い場所に移動してください。
Lo.5 READY	フェースボタン使用時に、周辺温度が低過ぎることを示しています。(室温16.0°C以下)温度の高い場所に移動してください。
35.1 READY Lo.5 READY	ホームボタン使用時に、測定値と「Lo.5」の文字が交互に点灯した場合は、周辺温度が低過ぎることを示しています(室温16.0°C以下)。温度の高い場所に移動してください。
E.6	温度計自体の温度が急激に変動していることを示しています。安定するまで待ってください。
E.8	温度計自体が急激に動かされたこと、又は、強い電磁場に影響を受けたことを示しています。直ぐ近くに携帯電話などがないことを確認し、再度測定してください。
2:58 CALIBR.?	温度計が完全に安定化していない場合に、自動的に安定化されるまでの時間を分・秒で示します(AQCS)。また、手動で直接安定化させること(MQCS)ができ、二つの方法のどちらかを選択できます
30.2 RE	待機中は、REの記号と共に周辺温度を表示します。MQCSやAQCSの方法で、急速に安定化させた場合、周辺温度の設定に基づき、測定値は正確に表示されます。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

・検温結果に基づく自己診断や治療は危険ですので、医師の指導に従ってください。[自己診断や治療により病状が悪化する恐れがあります]
・本製品は非接触式赤外線体温計ですので、耳内、鼻腔内、口腔内、直腸内など体の内部に挿入して使用しないでください。[体を損傷する恐れがあります]
・乳幼児の手の届かぬ場所に保管して下さい。また、お子様だけでのご使用は避けて下さい。[思わぬ怪我や損傷の恐れがあります]

注意

誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

・本品を分解や修理、改造をしないでください。[本体に障害をあたえ、故障の原因になります]
・電池の液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流して下さい。[失明などの障害の恐れがありますので、医師の治療を受けて下さい]
・電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流して下さい。[けがなどの恐れがあります]
・電池は乳幼児の手の届かぬ場所においてください。[乳幼児が電池を飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師に相談して下さい]
・使用済みの電池を火の中に入れないでください。[電池が破裂する恐れがあります]

保証規定

１．添付文書及び取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で、お買い上げ後一年以内に故障した場合には, 交換いたします。
２．保証期間中に故障した場合には、株式会社日本テクニメッドにご連絡ください。
３．保証期間中でも、次の場合には有償になります。
（１）使用上の誤りによる故障及び損傷
（２）お買い上げ後の落下や強いショックによる故障及び損傷
（３）地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電圧などによる故障及び損傷
（４）保証書の提示がない場合
（５）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
（６）消耗品（乾電池）
（７）不良又は漏れた乾電池による故障及び損傷
（８）故障の原因が本体温計以外に起因する場合
（９）シリアル番号のラベルが引きはがされたり、読めなくなったりした場合
（１０）製品が許可を受けていない人により開けられたり、修理されたりした場合
（１１）その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障及び損傷
４．本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。
５．この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償保証を約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保　証　書

このたびは、サーモフォーカスを、お買い求めいただきありがとうございました。商品は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は交換いたします。

品名：サーモフォーカスプロ　　*商品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります

ご芳名:

ご住所:

ＴＥＬ：　　（　　）

以下については、必ず販売店にて、記入していただいてください。
お買い上げ店名:

住所.　　ＴＥＬ：　　（　　）

お買い上げ年月日:　　年　　月　　日

〔シリアルNo：　　〕

お問い合わせ　株式会社　日本 テクニメッド
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-33-5マンション原宿202
Tel. 03-5468-6573　Fax. 03-5468-6574
email: info@nihontecnimed.com
http://www.nihontecnimed.com

日本 TECNIMED